アンバサダーライダー・髙田茉莉亜と佐々紫苑の

欧州馬術レポート

週刊Gallop 2022年3月号掲載

日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑
（さっさ・しおん）
1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

馬心伝心 ―奮闘記partⅡ―

佐々紫苑
Shion Sassa

私が馬術を始めて今年で17年になります。馬術選手である私にとってパートナーである馬は、師匠であり、友だちであり、時には教え子になり、家族のような存在になります。競走馬も競技馬も自分の活躍できる場所を見つけられれば幸せですが、全ての馬が脚が速かったり、障害を上手に飛べるわけではありません。速く走れても、年をとったり、けがをして引退を余儀なくされることは人間と同じです。

そんな馬たちにも活躍の場を、人と触れ合える場を作ることができたらすてきだなぁと考えています。速く走れないのであればゆっくりと山を歩くような観光のお手伝いを、高齢であっても子供たちと触れ合っておやつをもらったりすることなら、きっと楽しくできるはず。大きな歯でにんじんをがぶりとする音や表情は、子供や大人を笑顔にしてくれます。

馬に乗るのではなくて、触ってお世話をしたいという人もいます。そんな人には、おとなしく体を預けてくれる温厚な馬がお勧めです。海外のように、セラピーホースとしての生活もあります。馬を愛する人が増えて、さまざまな馬との関わりを持ち、その馬を必要とする人が増えていく――。多くの馬が、自分が必要とされる、ヒーローになれる場所を見つけられるように、馬と人をつなぐ『ウマッチングサイト』なんてものの立ち上げなども私の夢の一つになっています。

この顔に、癒されるんです！（本人提供）

Let's enjoy Dressage

髙田茉莉亜
Maria Takada

アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆髙田茉莉亜
（たかだ・まりあ）
1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

日本人の平均寿命は約80～90歳ですが、馬の平均寿命は一般的に20～25歳といわれています。馬の年齢を人間の年齢に当てはめるときは『馬の年齢×4＝人間の年齢』で計算するので、馬は日本人と同じぐらい、あるいはもっと長生きとも言えますよね。

私の勤務するアイリッシュアラン乗馬学校にも、ご長寿の馬がたくさんいます。引退競走馬としてここにやってきて、馬場馬術競技馬に転向したマヤノライジンもそのうちの一頭で、現在21歳。そして一番のご長寿は全日本馬場馬術選手権や国民体育大会など日本国内で大活躍し、日本馬術連盟の功労馬にも認定されたランドカイザーという馬で、その年齢はなんと29歳！　人間の年齢では116歳になります。競技生活を引退してからは、気ままなお散歩を日課にして、ここまで長生きしてくれました。

お世話になっている獣医師さんいわく、食生活や適度な運動、そして馬の性格や現役中に無理のない競技生活を送ってきたことも長生きの秘訣（ひけつ）ではないかとのことです。私の愛馬ブリタニアは現在14歳。まだまだ長生きしてもらいたいです！

御年29歳のランドカイザー！　お散歩中ぴょんぴょんしちゃうぐらい元気です！（本人提供）